

# 税の作文紹介

和歌山県納税貯蓄組合総連合会会長賞

広川町長賞

## 税の「バトン」



久保中学校1年  
赤土 琉華さん

来年から消費税が引き上げられる。たかが十パーセント、されど十パーセント。でも、僕たち子供にとつても、これは決して他人事ではない。お菓子を買うにも、本を買うにも、多くはないお小遣いで重く負担のしかかる。そんな安易な理由から、僕は消費税の引き上げに反対だった。

最近母が、よく兄に言っている事がある。兄は来年の三月高校受験なのだが、あまり勉強をしない。すると母は、口癖のように「今、あなたが勉強しないことは、税金の無駄遣

いなんやで」と。そう言われてみればそうだった。僕たちは、当たり前のように毎日学校に通っていて、当たり前すぎてすっかり忘れていたのだ。僕たちの教科書や机、図書館、病院、道路、警察、数え上げたらきりがないほど、僕たちは色々な税金に接し、支えられ、その恩恵を受けてきていたのだ。何て恵まれているのだろうと思った。

僕は幼い頃から体が弱く、アレルギーとぜん息もある為、発作で入院することも多々あり、毎月の通院は絶対に欠かせない。入院する度母が、「子供医療費助成制度のお陰で助かるわ」といつも言っていたのを思い出した。もし、このような制度がなければ、高度な治療も受けられないかもしれないし、安心した生活もおくれないかもしれない。そう考えると、税金は僕たちの生活と深く結び

つき、僕たちの生活を安心で豊かなものにしてきているのだ。

税金と聞くと、マイナスなイメージが世の中では強い。僕もその中の一人だったが、色々な税金のお陰で、僕たちは支えられ、安心した豊かな生活をおくれているのだなあと肌で実感した。人間は、みんな一人では生きていけない。誰かに支えられて生きている。僕は今はまだ、支えるよりは周りの大人に支えられている事の方が大きい。だが、大人になった時、僕も誰かを支えられる人になりたいと思う。

では、一体どうすればよいのだろう。一番大切なことは、僕たち子供が大人になった時に、周りの大人たちからの「バトン」をつないでいくことだと思う。未来の自分、未来の子供たちの為にも、税金の「バトン」をつないでいけば、みんなが幸せで、安心して暮らせる豊かな社会が築けるのではないかと思う。そのためには、税金の必要性を知り、広くみんなに伝えることが重要だと思う。この作文は、その一つのきっかけになるのではないかと感じた。僕も将来の税の担い手の一人として、今は勉強や学校生活を有意義なものにしたいと思う。

## 私たちと税との繋がり



津木中学校3年  
津木 奈奈さん

税金とは何か。私達の身の周りにはたくさん税金というものがあります。

ですが、すぐに答えられるかというと考えさせられるのでインターネットを使って調べてみました。

そこで、税にはたくさんの種類があることを知りました。消費税、所得税や住民税、お酒やタバコにも関わる税金、自動車税、公共サービスなどがあります。この中でも2つ気になるものがあったのでその2つを考えていきたいと思います。それは、消費税と公共サービスです。

まず、消費税はよく耳にする言葉だと思えます。簡単に言うと、物を買ったら必ず払う税金のことです。では最近ニュースでも聞く10パーセントに上がると言われています。消費税が上がること生活に影響もあると思うけど、私は納める事は大切だと思うので国民が協力し、今よりもっといい生活になっていけばいいなと思います。

もう一つは、一番身近な公共サービスに使われている事がわかりました。公共サービスとは、国民が豊かな生活を実現するために必要な事を提供するサービスの事です。今まで当たり前使用してきたサービスが有料になったりします。なので、救急車や警察、消防医療など生命に関わる機能すべてにお金がかかるようになり、救急車を呼ぶのにも大金なお金がかかり、

助かる人も減ってしまうということもあるかもしれません。

また、公共施設などもあり学校、公園、道路など公園を使うのにも有料になってしまいます。そうなると思えば回数が減る子もできてしまうと思います。また私達学校生活を送って授業していますが、学校も税金が使われていて、私達一人当たりの教育費も税金で賄われているおかげで楽しく過ごせています。最近では、京奈和自動車道という大きなものも作られているという事も知ってびっくりしました。

今回調べてみて、今まで知らなくてなにげに過ごしていたけど私達の生活をよくしてくれているものとわかったので生活する上で一人一人がきちんと納めていき、もっともっと良くなればうれしいので、私が大人になって働きはじめた時に笑顔で納める事ができると思います。